

# 図書だより



令和5年度 7月号  
播磨南高校図書室

暑い日が続きますね。

7月の期末テストが終わると、すぐに夏休みがやってきます。長いようではぼーっとしているとあっという間に終わってしまう夏休み。できることなら一日一日を大切に過ごしたいですね。

図書室を利用したことがない人は、開館日にぜひ利用してみてください。ひとりで使えるスペースもありますので、家にいるより勉強がはかどるかもしれません(^^) /

## 先生からのおすすめ本の紹介



お世話になっている先生からのおすすめ本を紹介します。ぜひ、夏休みに読んでみてください。

### 国語科 塩濱先生

書名 文章予測 読解力の鍛え方 著者名 石黒 圭

甲子園球場。9回の表が終わって0対3で巨人にリードされて万事休すか。ヒットも1回に出た2本だけ。

誰もが阪神の5連敗を確証して、球場をあとにして家路に急ごうとする熱烈なファンたち。口々に何か文句を言っている。

翌朝新聞を開いてみると、阪神のバースがさよなら満塁ホームランを打って阪神の勝利と大きな字でどこどこと見出しを飾っていた。

しかし、私は予測していた。

さて、この名著は文章をよりよく読めるように指南した本である。

国語の力というのは全ての科目の浮上の鍵を握る力である。それは君たちもわかっているはずだ。でもどうしたらよいかわからないというのが正直なところだろう。

ページをめくると、「第一章 文章理解とは？」から始まる。ワクワクしてさらに読み進めると、「頭の中の理解の姿」というテーマだ。次に「音に頼るか文字に頼るか」と続く。

これだけの紹介だけでも、この本を手にしたという強い思いが君たちにも生じるはずだ。つまり書かれた一文の次に書かれる一文を予測、または次に書かれる単語を予想して読む人と字面だけを読まされる人では読解に雲泥の差が生じてくる。それを君たちも痛感したことがあるだろう。文章に対する意識改革をもらえる書物だ。

さあ、本校の図書室にあるか予想してごらん！



## 図書委員長の「いい本見つけた！」コーナー

書名 星座がもっと見たくなる 著者名 駒井 仁南子

七月と言えば七夕。天の川にまつわる話について書いてあるページがありましたので、紹介したいと思います！

昔の人は、地上の世界と天上の世界はつながっていると考えていました。

夜空に見えるもやもやとした白い光の帯はきっと、地上の川の流がそのまま天に続いているのだと考えました。エジプトでは天の川を天のナイル川と呼び、バビロニアでは天のユーフラテス川と呼びました。また、北米では、天の川は天国へ通じる道だと考えられ、ギリシャ神話では、ヘルクレスがヘラの乳を飲んだ時にほとぼしたミルクが川になったと伝えられています。

日本では「天の川」というように、川としてみており、天の川の両岸に離れ離れになった織姫星と彦星が登場する七夕伝説が有名です。へびつかい座が南の空高く見えると、七夕が近いとされていたそうです。

(駒井 仁南子著(2012)「星座がもっと見たくなる」誠文堂新光社 P68、P80 より)

この他、この本には楽しい星座の物語がたくさん載っています。

夜空を見上げるのが楽しくなりますよ！ぜひ、読んでください。

### 読書感想文コンクールについて

受付期間 7月14日～20日の図書室開館時

\*希望する人は、上記の期間中に応募要項を図書室に取りに来てください。



### 長期貸し出しについて

長期貸出受付期間 7月14日～28日の図書室開館時  
貸出冊数 ひとり5冊まで 返却日 9月1日



### 夏休みの開館予定日(本の貸し出し返却可能日)について

7月 7月21日～28日

8月 8月21日～29日 (ただし、7/25学校説明会、土日を除く)

\*図書室のきまりを守って使ってください。変更などは、ドアに表示します。

